

2023年勉強会シリーズ

当プロジェクトは、3年間の議論を経て、本年3月、提言「[社会の分子ではなく、分母としての文化政策](#)」を公表いたしました。これをさらに多くの方と共有し、議論を深め、各所での実践につなげていただくために、活動を続けてまいります。

ここからの勉強会は、頻度やスタイルを定めず、さまざまな形で重ねていきたいと考えています。随時このサイトでお知らせいたします。

また、全国各地で勉強会を企画・共催して下さる方からのご提案もお待ちしております。

第6回 みんなで考える未来のかたち@札幌

京都発 提言「社会の分子ではなく、分母としての文化政策」からの発想

◆共催 札幌演劇シーズン実行委員会

日時 12月16日（土）13：30～16：30（～お時間の許す方はもう少し雑談）

会場 市民活動プラザ星園 2階 大会議室（札幌市中央区南8条西2丁目／アクセスは[こちら](#)）およびZoom

第I部

「提言『社会の分子ではなく、分母としての文化政策』とは？」

佐野真由子（当プロジェクト代表／京都大学大学院教育学研究科教授）

「北海道からの応答」

草野竹史氏（NPO法人ezorock代表理事、NPO法人北海道NPOサポートセンター理事）

トークセッション

草野竹史氏×当プロジェクトメンバー（朝倉由希、大島光春、蔭山陽太、佐野真由子、鈴木佳子、山田奨治、山本麻友美）

第II部

ディスカッション「あなたの声で未来をつくる」

あなたが大切にしたいことは何ですか。これからの社会に必要なと思うことは何ですか。提言「社会の分子ではなく、分母としての文化政策」をベースに、北海道の、そしてご参加の皆さまそれぞれの地域に即した未来へのアクションを考えてみましょう。

司会 三上敦氏（札幌演劇シーズン実行委員会）

★ご出席の前に提言をご一読くださるようお願いいたします（提言冊子は[こちら](#)）。

ご参加について

参加無料・事前申し込み制（募集定員 会場30名・オンライン15名／先着順／最終締切り 12月10日（日））

ご参加希望の方は[こちらのフォーム](#)からお申込みください。

- 16:30以降の「雑談」は会場参加の方のみです。
- オンライン参加の方には、お申込み時に登録されたメールアドレスへ前日にZoomミーティングの情報をお送りします。勉強会中はZoomのカメラ機能をオンにし、お顔の見える状態にさせていただきますようお願いいたします。

お問い合わせ

cp_project@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（新しい文化政策プロジェクト事務局）

jlyp.hokkaido@gmail.com（札幌演劇シーズン実行委員会）